

令和 7 年度における差別相談事例について

※本資料において令和 7 年度に係るデータは令和 8 年 1 月末時点のデータとなっています。

1 本市における相談の受付状況

(1) 相談分野別件数

	行政 機関	教育	雇用・ 就労	公共交通 機関	医療・ 福祉	サービス (買物等)	災害時	その他 ・不明	合計
R 6	2	0	1	1	2	3	0	1	10
R 7	1	0	2	2	1	2	0	2	10

(2) 相談者の障がい種別ごとの取扱件数

	視覚	聴覚	肢体 不自由	知的	精神	発達	難病	その他 ・不明	合計
R 6	2	1	3	1	0	1	0	2	10
R 7	2	1	4	0	2	1	0	0	10

(※重複障がいのある方については主な障がい種別でカウント)

(3) 相談者区分

	R 6	R 7
障がい者本人からの相談	6	6
障がい者の家族からの相談	0	1
その他・不明（福祉施設や相談事業所、匿名等）	4	3

2 代表的な差別相談事例

【代表事例1】プロスポーツチームのイベントにおける手話通訳について

分野	その他	障がい種別	聴覚障がい	相談者	その他
相談内容	相談者である手話通訳者の方から、知人の聴覚障がい者の方が熱心なプロスポーツチームのサポーターであるが、試合や選手のイベントでの手話通訳がなく、場内アナウンスや話の内容がわからないので対応を考えてもらいたい。				
対応	- 本人の困り事について、知人の手話通訳者を通じて聴取した。 - 本人としては、可能な限り手話通訳をつけてもらいたいと思っているが、必ずしも全ての試合に手話通訳をつけてもらいたいとまでは考えておらず、年に1回でもいいので大事なイベントやセレモニーに手話通訳をつけてもらい、一歩でも前に全身できたらよいと考えていた。そして、その思いをチームに書面で伝えることにしたが、回答がもらえない状況が続いていた。 - その後、チームの事務局に本人の状況を伝えるとともに検討状況を確認すると、車内で対応を検討中と回答があった。 - 後日、相談者あてにチームのイベントにて事務局の負担で手話通訳をつけるとの連絡があった。 (当時のホームページには、手話通訳をご希望される方は通訳者近くのお席をご準備させていただきますとの記載がなされた。)				

【代表事例 2】 盲導犬同伴者のすし店での入店について

分野	サービス	障がい種別	視覚障がい	相談者	本人
相談内容	・おいしいと言われているすし店の話を聞いたため、盲導犬を連れてガイドヘルパーと2人で店に行ったところ、店長風の男性が現れ、「盲導犬は店には入れられない、外につないでおいてほしい」と言ったため、盲導犬の同伴は認められていると訴えたところ、他の店はよくても当店では難しいと言われ、入店を断られた。ぜひ食事をしたいため、市から説明してもらいたい。				
対応	・店に電話し、相談者が入店を断られた事例を伝え、聞き取りを行った。 ・記憶の中にあったのか、盲導犬同伴者の客の話をし始め、「生ものを扱っているので外につないでおくならよい」と伝え、逆に客からは市役所にこのことを相談すると言われた。店としては、補助犬ステッカーも貼っていないため、対応は難しいと回答があった。 ・身体障害者盲導犬法には盲導犬の入店を断ってはならないとされているため、盲導犬は同伴者の体の一部であるため入店を考えてもらえないかと依頼すると、店長は会社に確認するため、再度電話してほしいとされた。 ・後日、店に電話すると、店長は会社から体の一部であるため一緒に入店してもらうように言われたとのこと。今後は店で対応させてもらうが、他の客の対応も櫃世なので事前に連絡してもらえると対応がスムーズになるとの回答があった。 ・前は知識不足で申し訳ないことをしたと相談者に伝えてほしいと依頼があった。				

【代表事例3】発達障がいのある方の音楽イベントへの参加について

分野	その他	障がい種別	発達障がい	相談者	本人（市外在住）
相談内容	音楽イベントに参加したくて参加の申し込みを行ったが、プロフィールに障がいがあることのほか、演奏に影響する可能性について明記したところ、障がいがあることを理由に参加を断られた。これは障がい者の社会参加を妨げる差別なのではないか。				
対応	- 相談者に対し、どのように申し込みを行い、どのような断り方をされたのか確認を行った。 - 音楽イベントの運営事務局に対し、相談者からの申し込みの内容とともに、どのような理由で断ったのか聞き取りを行った。 - 事務局からは、障がいがあることを心配したほか、会場とのマッチングがうまくいかないため断ったものの、申し訳ないので別の時期のイベント参加を相談者に提案したとの回答があった。 - ただし、事務局としてはメールでのやりとりで双方の解釈に行き違いがあり、それを差別的な対応と解釈されたのではないかと感じ、今回のイベントにどのように参加できるかを含めて相談者に直接会って説明をしたいとの提案があった。 - 双方の予定を調整後、直接の話し合いが行われ、結果的に使用する予定でなかった会場を利用してのイベント参加が実現した。				